

塩竈アフタースクール事業

Shiogama こどもほっとスペースづくり支援プログラムについて

塩竈市は放課後等に子どもにとって魅力的な事業を提供し、次世代を担う子どもの育成を図ることを目的に塩竈アフタースクール事業「Shiogama こどもほっとスペースづくりプログラム」を開始します。

このプログラムは、「地方創生推進交付金」を活用し、地域の方々などにより子どもたちの放課後、休日、長期休業中の居場所の設立を図る事業であり、助成金による支援と講演会・勉強会等を開催するものです。

こどもほっとスペースづくり講演会

子どもの居場所づくりの専門家を招いての講演会と助成金の説明会を開催します。

- 日時 2017年11月3日(金・祝) 13:30~16:30
- 場所 ふれあいエスプ塩竈 学習室1(塩竈市東玉川町9-1)
- 講演テーマ 「こどもたちにとって放課後の居場所があることの大切さ」
～私がこども食堂を立ち上げた理由～
- 講師 NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク 理事長 栗林 知絵子さん
- 助成金説明会 講演会終了後に説明会を行います。



こどもほっとスペースづくり助成金

子どもの居場所づくりの設立及び活動資金を、市が支援するものです。

- 支援金額 平成29年度 1,000千円 内訳：A)15万円(5~3件) B)25万円(1~2件)
平成30年度 3,000千円
- 対象活動例
 - ☉ 平日の放課後や夜間の子どもの居場所 [例] 子ども・地域食堂
 - ☉ 学習支援等 [例] 教科の学習支援・英会話教室・料理教室
 - ☉ 多様な学びを通じた多世代間の交流を図る事業
[例] 伝承遊び・囲碁・将棋・街あるき・地域の特色を生かした体験事業
- 第1回申請期間 平成29年10月16日(月)~11月17日(金)

こどもほっとスペースづくり支援研修

こどもほっとスペースづくり助成金を受けられた方には、居場所づくりに関する助成団体同士の学び合いの機会を設けています。月1回程度の研修の機会を設けて、こどもほっとスペースづくりを支援します。

こどもほっとスペースづくり勉強会

子どもの居場所づくりに関心をお持ちの市民の皆様を対象に、勉強会を行います。

全6回シリーズで、地域で求められている居場所の考え方や実践者の声、子ども向けプログラムの作り方、安全管理等を勉強します。

Shiogama

こども



ほっとスペースづくり



講演会



講演テーマ

こどもたちにとって放課後の居場所があることの大切さ
～私がこども食堂を立ち上げた理由～



講師

NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク

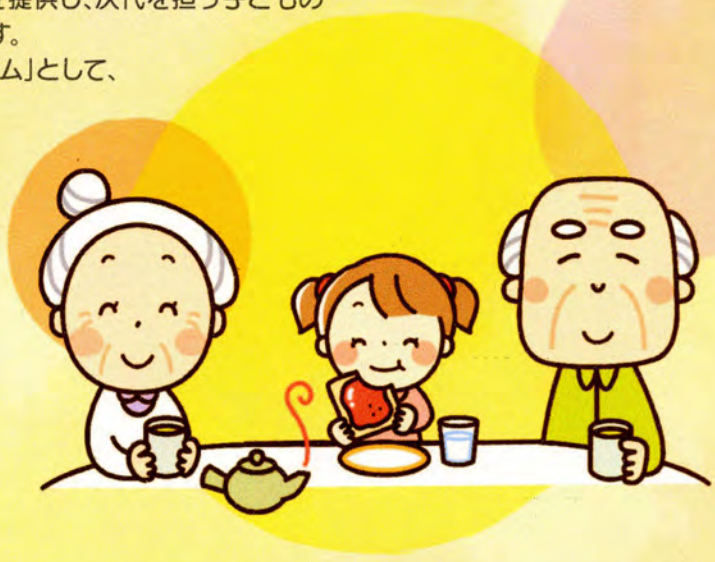
理事長 栗林 知絵子さん

プロフィール

東京都豊島区在住。2004年より池袋本町プレーパークの運営に携わる。
地域のおせっかいさんをつなげ、子どもの居場所を点在化することを目指している。

塩竈市では、放課後に子どもにとって魅力的な事業を提供し、次代を担う子どもの育成を図る塩竈アフタースクール事業を進めています。
今回は、「こども“ほっと”スペースづくり支援プログラム」として、子どもの居場所づくりの専門家を招いての講演会と、スタートアップ助成金の説明会を開催します。
地域のみんで塩竈に住む子どもの“ほっと”できる居場所づくりを一緒に考えてみませんか。

2017
11.3 金
13:30～16:30



会場 ふれあいエスプ塩竈
学習室(宮城県塩竈市東玉川町9-1)

定員 子どもの放課後の居場所づくりに
関心のある方ならどなたでも
(30名程度)

参加
無料

主催/塩竈市健康福祉部子育て支援課 共催/NPO法人 アスイク、公益財団法人 地域創造基金さなぶり

問合せ先

子育て支援課家庭支援係
☎022-353-7797

お申込み

NPO法人 アスイク
☎022-781-5576 (担当:宮川、佐藤)
✉ info@asuiku.org